

第3回 談話会

日時：2024年10月8日（火）17：30～18：30

場所：神奈川歯科大学附属病院 12階講堂

オクルーザルベニアの特長と 臨床術式

講師：海渡 智義 先生
オプティマスデンタルクリニック 院長



1993年 日本歯科大学歯学部 卒業
1997年 同大学大学院 修了 博士（歯学）、同大学附属病院補綴科入局
2001年 同大学総合診療科、インプラント診療センター 併任
2010年 東京理科大学大学院工学研究科機械工学専攻単位取得満期退学
オプティマスデンタルクリニック 院長
日本歯科大学生命歯学部 歯科補綴学第2講座 非常勤講師（在任）
日本歯科大学生命歯学部 歯科理工学講座 客員教授（在任）

昨今注目されている臼歯部の修復形態として『オクルーザルベニア』がある。再歯冠修復を行う場合や、Tooth Wear への対応として、既に海外では有用性と良好な経過が示されている。

オクルーザルベニアは、咬合面を一層削除した支台歯に、強度の高いセラミックスを接着し置換することで、実質欠損とともに咬合接触や咬合高径を回復することを臨床的意義とする。このため、接着、支台歯形成、製作方法の選択など、適応に際し留意すべき事項も多いため、実際の臨床例を交えて解説したい。

担当部署：クリニカル・バイオマテリアル学分野
クラウンブリッジ補綴学分野

神奈川歯科大学学会